

平成16年(2004年)新潟県中越地震(第19報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

1. 本省及び地整等の体制について

国土交通本省 10月23日 17:56 非常体制 <u>10月24日 7:50</u> <u>非常災害対策本部(本部長:事務次官)</u> 北陸地方整備局 <u>10月23日 18:00 非常体制</u> 関東地方整備局 10月23日 18:00 警戒体制 10月24日 13:00 注意体制 10月27日 10:45 警戒体制 <u>16:30 注意体制</u> 東北地方整備局 10月23日 18:00 警戒体制 20:40 注意体制 10月24日 10:40 体制解除 10月25日 6:10 注意体制 8:45 体制解除 <u>10月27日 10:40 注意体制</u> <u>14:00 体制解除</u> 国土地理院 <u>10月23日 18:30 災害対策本部設置</u>	東北運輸局 10月23日 17:56 警戒体制 21:00 注意体制 10月25日 10:00 体制解除 <u>10月27日 10:40 警戒体制</u> 14:00 注意体制 <u>17:00 体制解除</u> 関東運輸局 10月23日 18:00 警戒体制 10月24日 19:00 注意体制 10月27日 10:43 警戒体制 <u>10月28日 13:00 注意体制</u> 北陸信越運輸局 <u>10月23日 18:00 非常体制</u>
---	--

2. 地震概要

平成16年10月23日に発生した最大震度5弱以上の地震

- 17:56 M6.8 震度7 : 川口町 震度6強 : 小千谷市
震度6弱 : 長岡市、十日町市、栃尾市、中里村
- 18:03 M6.2 震度5強 : 小千谷市、中之島町
- 18:12 M5.9 震度6強 : 小千谷市
- 18:34 M6.3 震度6強 : 十日町市、川口町 震度6弱 : 小千谷市、六日町、安塚町
震度5弱 : 頸城村
- 18:36 M5.0 震度5弱 : 小千谷市、川口町
- 18:57 M5.1 震度5強 : 小千谷市 震度5弱 : 川口町
- 19:40 M5.2 震度5弱 : 小千谷市
- 19:46 M5.9 震度6弱 : 小千谷市

平成16年10月24日に発生した最大震度5弱以上の地震

- 14:21 M4.9 震度5強 : 小千谷市

平成16年10月25日に発生した最大震度5弱以上の地震

- 0:28 M5.2 震度 5 弱 : 小千谷市
- 6:05 M5.6 震度 5 強 : 小千谷市、堀之内町、入広瀬村
- 震度 5 弱 : 長岡市、新潟三島町、広神村、刈羽村

平成16年10月27日に発生した最大震度 5 弱以上の地震

- 10:40 M6.1 震度 6 弱 : 中越
- 震度 5 弱 : 福島県会津、群馬県北部・南部、新潟県上越・下越

3. 政府の対応(下線部は前回からの変更箇所)

- 官邸対策室18:00設置
- 緊急参集チーム会議19:00~23:47
- 防災大臣記者会見19:25
- 政府先遣隊21:05市ヶ谷発、23:00現地到着(23日)
- 現地連絡調整室設置(23日)→現地支援対策室に格上げ(25日)
- 災害対策関係省庁連絡会議開催(24日 1:30)
- 政府調査団を24日派遣
- 平成16年(2004年)新潟県中越地震政府非常災害対策本部設置(24日 7:50)
- 政府非常災害対策本部第一回会合開催(24日 9:30)
- 政府非常災害対策本部第二回会合開催(24日 12:45)
- 政府非常災害対策本部第三回会合開催(25日 17:30)
- 政府非常災害対策本部第四回会合開催(26日 19:00)
- 政府非常災害対策本部第五回会合開催(27日 16:00)
- 政府非常災害対策本部第六回会合開催(28日 18:00)
- 政府非常災害対策本部第七回会合開催(29日 17:00)
- 政府非常災害対策本部第八回会合開催(30日 15:00)
- 政府非常災害対策本部第九回会合開催(31日 15:00)

4. 国土交通省の対応(下線部は前回からの変更箇所)

- 国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める
- 所管施設等について点検中
- 固定カメラによる現地画像を官邸及び関係機関へ配信
- 北陸地方整備局へ新潟離陸(23日 19:40)
- みちのく号19:40仙台離陸、20:45新潟空港到着、21:35新潟空港離陸
- 各地方整備局より排水ポンプ車のべ8台、照明車のべ14台、造水車2台を現地に派遣。
(うち東北地整照明車5台、関東地整照明車5台、中部地整照明車4台、
近畿地整造水車2台、中国地整ポンプ車8台)
- 応急危険度判定業務を行うため、各地方整備局から判定士(計18名)を派遣。
- 被災建築物応急危険度判定業務を24日から実施中。(30日までに18763件実施)
- 応急危険度判定業務の指導及び建築物の被害調査等のため、住宅局及び国総研、
建築研究所職員を現地に派遣(24日~)
- 関係団体において被災住宅の補修相談窓口を設置(24日正午から開設)。
- 被災者の住宅確保について公営住宅の空家(174戸を確認)の提供
- 応急仮設住宅の建設については、(社)プレハブ建築協会において建設を決定
- 住宅金融公庫において、25日より災害復興住宅融資を募集するとともに、窓口金融機関
での相談窓口を整備。

- 新潟県知事からの要請により、建築住宅関係の復興を総合的に支援するため、市街地住宅整備室長を派遣
- 応急危険度判定の技術的指導や住宅復興融資の相談等に対応するため、建築指導課、都市再生機構、住宅金融公庫及び関係団体の職員(29名)を派遣、活動を開始。
- 応急仮設住宅を含め、公営住宅等公共賃貸住宅や民間住宅の空家情報の一元的な提供に向け、新潟県において「空家情報センター」を設置
- 国土地理院は航空機「くにかぜ」による空中写真撮影を24日に実施(25日に公表) 28日に山古志村をはじめとした未撮影地区について撮影を実施
- 国土地理院は災害対策用地形図及び災害状況図をホームページに掲載(10月23日)
- 国土地理院は電子基準点のデータを解析し、地震に伴う地殻変動及び推定される断層モデルについて発表(10月24日)
- 国土地理院は地震の被害状況把握と被害の発生した地形等の調査のための現地緊急測量調査を実施(10月24日～26日)
- 国土地理院は27日10時40分頃に発生した震度6弱の余震の震源を中心とした災害対策用図を緊急印刷し、関係機関に提供(10月27日)
- 航空・鉄道事故調査委員会が調査官を現地に派遣(23日)
- 河川局災害査定官を現地に派遣(24日)
- 被害状況把握のため国総研・土研等から砂防専門家及び河川局砂防部保全課等から担当官を派遣し、現地調査・ヘリ調査を実施
- 政府調査団として、河川局防災課長及び道路局高速国道課長を派遣(24日)
- 国土交通大臣が現地視察(24日)
- 平成16年(2004年)新潟県中越地震国土交通省非常災害対策本部設置(24日 7:50)
- 国土交通省非常災害対策本部第一回本部会議開催(24日 9:00)(大臣・副大臣出席)
- 国土交通省非常災害対策本部第二回本部会議開催(24日 18:30)(大臣・副大臣・政務官出席)
- 国土交通省非常災害対策本部第三回本部会議開催(24日 21:00)(")
- 国土交通省非常災害対策本部第四回本部会議開催(26日 16:45)
- 国土交通省非常災害対策本部第五回本部会議開催(27日 12:30)
- 国土交通省非常災害対策本部第六回本部会議開催(29日 17:30)
- 被害状況把握のため、国総研・土研等から砂防専門家を派遣し、ヘリ調査を実施(25日)
- 北陸地方整備局ヘリ新潟離陸(25日 9:00)
- 国土交通省下水道部下水道事業調整官、国土技術政策総合研究所下水道研究部研究官4名及び日本下水道事業団より職員10名を派遣(24日より) この結果をふまえ、「新潟県中越地震下水道災害復旧支援本部」を新潟県、北海道、東北各県及び及び政令指定都市等と共同で設置し、技術的助言等を実施(28日)
- 被災宅地危険度判定業務の指導及び宅地の被災状況調査のため、都市・地域整備局、建築研究所及び都市再生機構職員6名を現地に派遣(26日)
- 政府の現地対策室に道路局保全企画官、北陸地方整備局道路情報管理官を派遣(24日)
- 北陸地方整備局の斡旋により建設関係3団体が簡易トイレ841基(29日時点)を被災市町村に提供(26日～)
- 山古志村通信確保のため山古志村に衛星携帯電話を貸与(26日)
- 国総研・土研の道路専門家(トンネル等)を派遣し、新潟県等の要請する被災箇所について応急復旧に対する支援を実施(25日)
- 小千谷市の停電地区や断水地区に各地方整備局が保有する電源供給も可能な道路照明車や造水車を派遣(25日)
- 現地支援対策室に河川局砂防部砂防計画課火山・土石流対策官を派遣(26日)
- 土研の道路・砂防専門家を派遣し、長岡市妙見地先の土砂崩落により埋没した自動車の救出作業における安全確保について、技術指導を実施(26日)

- 新潟空港24時間運用開始(27日～)
- 新潟県、北海道、東北各県及び政令市等と共同で設置(27日)
- 新潟県からの要請に基づき、国土交通省河川局砂防部、土研、新潟県、砂防ボランティア等よりなる、「土砂災害対策緊急支援チーム」を派遣し、土砂災害危険箇所等の点検実施(27日～31日予定)
- 岩井国土交通副大臣が現地視察(28日～30日)
- 新幹線脱線対策協議会を設置し、当面取り得る対策の検討を開始(25日)
- 第2回新幹線脱線対策協議会を開催。新幹線を有するJRに対し、大臣から、「原因究明を待たず可能な対策から行うこと」及び「高架橋の耐震性の総点検、補強計画の前倒し」を指示。(29日)
- 公共土木施設の災害復旧業務の応援のため、新潟県の要請に基づき、16都道府県の職員合計55名が2週間(11月1日～15日)新潟県に派遣
- 北陸地方整備局に「新潟県中越地震による市町村道の道路の復旧支援本部」設置(29日)し、31日から123名の職員等を派遣し市町村道の災害状況の緊急調査を支援
- 24日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室、(独)土木研究所地すべりチーム新潟試験所の砂防専門家及び本省河川局砂防部保全課の担当官を派遣し、ヘリ調査及び地上調査を実施。
- 25日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室及び(独)土木研究所土砂管理グループから砂防専門家を派遣し、ヘリ調査を実施。
- 27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所から砂防専門家を派遣し、小千谷市浦柄地区土砂災害による自動車埋塞現場において救出作業における安全確保の技術指導を実施。
- 27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所、新潟県、砂防ボランティアより編成される「土砂災害対策緊急支援チーム」の派遣を行い、新潟県内16市町村にて二次災害防止のため土砂災害危険箇所等の調査点検を実施
- 蓮美国土交通副大臣が現地視察(30日)

5. 所管施設等の状況

○道路(10月31日 17:00現在)

1) 高速道路

① 関越道 長岡IC～小出IC・・・通行止め

- ・通行止め区間においては・片側1車線の応急復旧は概ね完了し、現在4車線確保に向けた応急復旧
- ・救援物資等を運搬する緊急車両のみ通行可能。
- ・なお、10月29日12時をもって、小出～六日町(上下線)、六日町～月夜野(下り線)の通行止め解除

② 北陸道 応急復旧が完了し、26日夜に全線通行止めを解除

2) 直轄国道

① 国道8号・・・24日までに全線で一般車両の通行確保

- ・中ノ島町～長岡市において、多数の段差 等

② 国道17号・・・和南津トンネルを除き、25日までに一般車両の通行を確保

- 和南津トンネルについても、並行する県道を修復し、緊急車両等の通行を確保
- ただし、現在は、30日の芋川の土石流発生の危険に伴い避難勧告命令が出されたため、迂回路は通行止め

- ・長岡市～小出町において、多数箇所の段差、路面陥没
- ・和南津トンネル(川口町、L=300m) コンクリート剥落、人的被害なし
- ・川口町天納地先の道路崩壊(L=約80m)
- 29日に、迂回路を整備し、一般交通開放

③ 国道116号・・・24日までに全線で一般車両の通行確保

- ・柏崎市において、路面陥没

3) 孤立集落

- 現在、孤立している地区は小千谷市、山古志村等で、26地区(31日17時現在)との情報
- 30日16:30頃に栃尾市田代地区の孤立が解消
- 24日と25日に、北陸地方整備局職員が輸送ルート確保のための現地調査を実施

○河川(10月29日 14:00現在)

・被害状況(総括)

【平成16年10月23日17時56分発生等】

○直轄河川で点検対象となった水系は、最上川水系、利根川水系、荒川(関東)水系、信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系、姫川水系、荒川(北陸水系)の8水系。

このうち信濃川水系において被害発生を確認。

○補助河川で点検対象となった県は、福島県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県、長野県、新潟県、石川県、富山県の12県。

このうち新潟県において被害発生の報告。

【平成16年10月27日10時40分発生】

○直轄河川で点検対象となった水系は、利根川水系、信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系の4水系。このうち信濃川水系において被害発生を確認。

○補助河川で点検対象となった県は、群馬県、埼玉県、新潟県、福島県の4県。

このうち新潟県において被害発生の報告。

【直轄河川】

整備局	水系	河川	被害状況(箇所)					計	応急対策完了(箇所)
			亀裂	沈下	法面崩壊	水門等施設			
北陸	信濃川	信濃川下流	1	0	0	0	1	1	
北陸	信濃川	信濃川	99	16	1	6	122	54	
北陸	信濃川	魚野川	43	6	2	5	56	22	
合計	1水系	3河川	143	22	3	11	179	77	

※その他の河川については、異常なし

【補助河川】

都道府県	水系	河川	被害状況(箇所)							計	応急対策完了(箇所)
			亀裂	沈下	法面崩壊	水門等施設	河道閉塞	噴砂			
新潟県	信濃川	刈谷田川	3	0	0	0	0	0	3	0	
新潟県	信濃川	釜沢川	0	0	0	0	1	0	1	1	
新潟県	信濃川	渋海川	1	0	2	0	0	0	3	0	
新潟県	信濃川	朝日川	0	0	0	0	1	0	1	0	
新潟県	信濃川	黒川	7	0	1	2	1	10	21	1	
新潟県	信濃川 鯖石川 郷本川 島崎川	42河川	17	5	24	0	27	0	73	8	
合計	4水系	47河川	28	5	27	2	30	10	102	10	

※被害のあった河川 40河川

信濃川水系：刈谷田川、浦瀬川、釜沢川、稲葉川、洪海川、黒川、黒川流末川、朝日川、野辺川、茶郷川、道見川、田河川、和田川、越又川、破間川、芋川、赤沢川、東川、西川、小木城川、高鳥川、柿川、椿田川、太田川、湯殿川、国沢川、樽井川、逆谷川、鹿熊川、浦加桂川、相川川、寺沢川、魚野川、田沢川、辻又川、田河川、名木沢川、浄土川、山北川、表沢川

鯖石川水系：鯖石川、石黒川、石川

郷本川水系：郷本川

島崎川水系：島崎川、小木川

相場川水系：相場川

・河川関係現地調査

○日程：平成16年10月25～26日

○調査者：国土交通省国土技術政策総合研究河川研究室 主任研究官
 国土交通省国土技術政策総合研究河川研究室 研究員
 国土交通省国土技術政策総合研究地震防災研究室 主任研究官
 独立行政法人土木研究所耐震研究グループ（振動） 上席研究員
 独立行政法人土木研究所耐震研究グループ（振動） 研究員
 独立行政法人土木研究所材料地盤研究グループ（土質） 主任研究員

○ダム（10月29日 14:00現在）

●10月23日17時56分頃発生（マグニチュード7.0）

全国点検対象ダム		
直轄	10	ダム
機構	3	ダム
補助	30	ダム
利水	71	ダム
合計	114	ダム

分類	1次点検終了ダム	2次点検終了ダム	2次点検実施中ダム	異常報告確認ダム
直轄	10 異常報告なし	10 異常報告なし	0	0
機構	3 異常報告なし	3 異常報告なし	0	0
補助	30 異常報告なし	30 異常報告なし	0	0
利水	68 異常報告なし	68 異常報告なし	0	3 川西ダム 長福寺ダム 坪山ダム
合計	111 ダム	111 ダム	0 ダム	3 ダム

異常報告ダムの状況 ○川西ダム（新潟県農地）

・堤体上流張ブロックにひび割れ、不等沈下及び濁りのある漏水を確認。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施予定。

○長福寺ダム（新潟県農地）

・堤体上流張ブロックにひび割れ及び濁りのある漏水を確認。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施予定。

○坪山ダム（新潟県農地）

- ・堤体と洪水吐の境界に段差が発生。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施予定。

その他貯水池(河道外)○利水：浅河原調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

(河道外のため上表に計上されていない。)

- ・堤体にひび割れ確認。浅河原地区4世帯に出された避難指示は25日(月)8時に解除。現在、貯水量はなし。25日に専門家による現地調査を実施。

○利水：新山本調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

- ・堤体にひび割れ確認。現在、貯水量はなし。26日に専門家による現地調査を実施予定。

○利水：山本調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

- ・調整池堰堤から濁りのある漏水を確認。現在、貯水量はなし。26日に専門家による現地調査を実施予定。

●余震による点検ダム数

余震	臨時点検ダム数				異常報告確認ダム
	直轄	機構	補助	利水	
10月27日10時40分頃発生(マグニチュード6.1)	4	2	13	32	

- ・対象51ダムで1次、2次点検終了。48ダムで異常報告なし。10月23日17時56分頃発生した地震により異常報告のあった川西ダム、長福寺ダム、坪山ダム(新潟県農地)は被災状況が拡大していない模様。

- ・浅河原調整池、新山本調整池、山本調整池(JR東日本、河道外貯留施設)は1次点検の結果では被災状況は拡大していない模様。

○土砂災害等の被害状況(10月31日14時00分現在)

都道府県名	発生災害※	発生件数※	人的被害※			家屋損壊数※			被害状況等※
			死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	
新潟県	土石流	19	0	0	0	0	0	1	・山古志村寺野、家屋一部破損1戸
	地すべり	36	0	0	0	10	2	2	・小千谷市浦柄、家屋全壊1戸 ・山古志村油夫(ゆふ)、家屋全壊3戸、集落孤立 ・山古志村竹沢、家屋全壊5戸 ・山古志村木籠(こごも)、家屋全壊1戸 ・山古志村木籠(こごも)、家屋半壊1戸、一部損壊1戸
	がけ崩れ	36	5			5		7	・長岡市・長岡市濁沢、死者2名、家屋2戸全壊 ・長岡市滝谷、家屋一部損壊1戸 ・長岡市鷺巣町、家屋一部損壊1戸 ・小千谷市塩谷、死者3名、家屋全壊3戸 ・小千谷市浦ノ山、家屋一部損壊1戸 ・川口町中山、家屋一部損壊1戸 ・小国町諏訪井、家屋一部損壊1戸 ・三島町西谷、家屋一部損壊2戸
	合計	91	5	0	0	15	2	10	

※詳細については確認中であり変わる事もある。

※特に人的・物的被害発生箇所について記載している。

※情報は新潟県からの情報に基づく。

※土石流の件数の中には現段階で山腹崩壊を含んでいる。

◎24日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室、(独)土木研究所地すべりチーム・新潟試験所の砂防専門家及び本省河川局砂防部保全課の担当官を派遣し、ヘリ調査及び地上調査を実施。

◎25日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室及び(独)土木研究所土砂管理グループから砂防専門家を派遣し、ヘリ調査を実施。

◎27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所から砂防専門家を派遣し、小千谷市浦柄地区土砂災害による自動車埋塞現場において救出作業における安全確保の技術指導を実施。

◎27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所、新潟県、砂防ボランティアより延べ500人を「土砂災害対策支援チーム」へ派遣し、新潟県内16市町村にて二次災害防止のため土砂災害危険箇所等の調査点検を実施。

◎28日より、国土技術政策総合研究所砂防研究室及び(独)土木研究所土砂管理グループから「山腹崩壊による天然ダム緊急調査チーム」へ砂防専門家を派遣し、天然ダムへに対する現地確認と対応策への助言を実施。

○海岸(10月29日 14:00現在)

・点検対象及び点検状況

【直轄海岸】

整備局	都道府県	海岸名	概略点検		詳細点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
北陸	新潟県	新潟海岸	10/23	10/23 22:40 異常なし	10/24	10/24 11:50 異常なし

【補助海岸】

整備局	都道府県	海岸名	概略点検		詳細点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
北陸	新潟県		10/23	10/23 異常なし	10/24 点検中	
北陸	石川県		10/23	10/23 異常なし	10/24	10/24 18:50 異常なし

・被害状況

【直轄海岸】

・なし

【補助海岸】

整備局	都道府県	海岸	被害箇所	被害状況等	対策状況
北陸	新潟県	寺泊海岸 (山田地区)	寺泊町	護岸水たたき40mにわたり 沈下 (最大15cm)	検討中
北陸	新潟県	椎谷海岸	柏崎市	護岸水たたき30mにわたり 沈下 (最大30cm)	検討中

○鉄道の状況(10月31日 9:00現在)

事業者名	線名	運転中止区間	主な被害状況等
東日本旅客鉄道株	上越新幹線	越後湯沢～燕三条	浦佐駅～長岡駅間で列車脱線 当該脱線箇所の軌道、締結装置に損傷 浦佐駅～燕三条駅間でトンネル、高架橋に損傷 上毛高原駅～越後湯沢駅間は27日10:40発生の地震により運転見合わせしていたが、12:41運転再開 燕三条駅～新潟駅間は30日朝から運転再開 越後湯沢駅～燕三条駅間で31日朝から代行バスの運行開始
	信越本線	柏崎～長岡	見附駅上りホームの一部陥没 越後広田駅～北条駅間で築堤崩壊 宮内駅1番、3番ホームで笠石移動 27日10:40発生の地震により北長岡駅～押切駅路盤陥没 長岡駅～東三条駅間は26日14:39から運転再開 黒姫駅～柏崎駅間は27日10:40発生の地震により運転見合わせしていたが、黒姫駅～直江津駅間においては、27日15:21運転再開、直江津駅～柏崎駅間27日17:12運転再開、長岡駅～東三条駅間27日20:11運転再開
	飯山線	十日町～越後川口 ※(替佐～飯山は台風23号に伴う施設被害で運転中止)	越後鹿渡駅～越後田沢駅間の信濃川橋梁付近で線路陥没 越後田沢駅～越後水沢駅間の七川橋梁付近で線路陥没 十日町駅～魚沼中条駅間の田川橋梁両端で地盤低下 魚沼中条駅ホームで笠石ずれ 魚沼中条駅～下条駅間で道床陥没、道床流出等 森宮野原駅～十日町駅間29日6:23朝夕時間帯のみ運転再開
	只見線	小出～只見	調査中
	上越線	水上～宮内	小千谷駅～越後川口駅間でのり面崩壊、土砂流出 越後川口駅～北堀之内駅間で土砂崩壊、線路はしご状態 北堀之内駅～越後堀之内駅間で覆工崩落
北越急行(株)	ほくほく線	六日町～まつだい	十日町駅付近の高架橋、電化柱、信号機柱、レール締結装置等 まつだい駅～犀潟駅間は25日14:31から運転再開。まつだい駅～犀潟駅間は27日10:40発生の地震により運転見合わせしたが、27日20:47運転再開

○航空(10月29日 14:00現在)

1) 空港基本施設・航空保安施設の被害状況

無し

2) 定期旅客便の運休状況

無し

3) 臨時便の状況(10月24日から運航)

月 日	区 間	便 数	備 考
10月24日	羽田 - 新潟	4便	JAL、ANA各2便
	伊丹 - 新潟	1便	ANA1便
10月25日	羽田 - 新潟	10便	JAL4便、ANA6便
	伊丹 - 新潟	2便	ANA2便
10月26日	羽田 - 新潟	17便	JAL6便、ANA11便
10月27日 ~ 10月28日	羽田 - 新潟	14便/日	JAL6便、ANA8便
10月29日 ~ 11月3日	羽田 - 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便
11月4日 ~ 11月5日	羽田 - 新潟	15便/日	JAL8便、ANA7便
11月6日 ~ 11月7日	羽田 - 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便

※ 便数に関しては、片道を1便として計上。

※ 10月29日以降に関しては、29日14:00現在の予定。

※ 航空会社問い合わせ先

JAL国内線予約・案内 0120-25-5971 (有料)03-5460-0522 www.jal.co.jp

ANA国内線予約・案内 0120-029-222 (有料)0570-029-222 www.ana.co.jp

○港湾(10月29日 14:00現在)

1) 港湾施設の被害状況

- ・被害なし
- ・船舶による海上からの緊急物資等の受け入れ可能。
(連絡先:新潟県港湾課 025-285-5511)

2) 港湾局所管海岸保全施設の被害状況

- ・被害なし

○バス(10月29日 14:00現在)

- ・被害なし

磐越道・東北自動車道経由で迂回運行していた新潟～東京間的高速バスは、10月30日から通常運行(北陸・関越道経由)。

・上越新幹線が燕三条～越後湯沢間において運休していることから、新潟～郡山間的高速バスを「新幹線リレー号」として10月26日から運行。

運行系統	運行事業者	運行状況等
新潟万代バスセンター ～ 池袋サンシャインシティ	新潟交通(株) 西武バス(株) 越後交通(株)	往復24便
新潟万代バスセンター ～ 郡山駅前	新潟交通(株) 福島交通(株)	往復16便

※バス事業者連絡先

- ・新潟交通(株) 電話(025)－246－6275(新潟～東京間)
- ・新潟交通(株) 電話(025)－241－9000(新潟～郡山間)
- ・西武バス(株) 電話(04)－2926－3530
- ・越後交通(株) 電話(0258)－34－3251
- ・福島交通(株) 電話(024)－944－5402

○海上交通の状況(10月29日 14:00現在)
被害なし

○観光の状況(10月29日 14:00現在)

○登録ホテル・旅館

都道府県名	市町村名	施設数	被害概況
新潟県	長岡市	ホテル 5軒 旅館 1軒	・人的被害:なし ・水道管破裂、外壁の剥離、テレビ・冷蔵庫等の転倒等あり ・蓬平温泉への宿泊客は全員当該地区から退避
	六日町	旅館 5軒	・人的被害:なし ・壁の剥離、温泉への土砂混入等あり
	上越市	ホテル 5軒	・人的被害:なし
	松之山町	旅館 1軒	・人的被害:なし

○旅行者の状況

第1種旅行業者(国土交通大臣登録)の主催旅行に参加した旅行者の被害情報なし

○下水道施設の被害状況(10月30日14:00現在)

種別	管理者名	処理場	管きよ	計
流域下水道	県	1箇所	4箇所	5箇所
公共下水道	市町村 (7市13町4村)※	8箇所	27箇所	35箇所
合計		9箇所	31箇所	40箇所

※長岡市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、栃尾市、分水町、越路町、三島町、与板町、出雲崎町、堀之内町、小出町、六日町、大和町、川西町、小国町、西山町、松与町、弥彦村、和島村、浦川原村、守門村

○公園施設の被害状況(10月29日14:00現在)

管理者名	箇所数	施設名
国	1	国営越後丘陵公園 (長岡市)
県	3	奥只見レクリエーション都市公園 (小出地域、須原地域、道光・根小屋地域)
市町村	8	国上健康の森公園(分水町)、小出公園(小出町)、 片貝ふれあい公園(小千谷市)、ふれあい広場(吉田町)、 大原運動公園(塩沢町)、悠久山公園(長岡市)、 長岡ニュータウン公園(長岡市)、蒼丘の杜公園(川口町)
合計	12	

○その他都市施設の被害状況(10月29日14:00現在)

都道府県名	管理者名	施設名	被害状況
新潟県	独立行政法人 都市再生機構	長岡ニュータウン	誘致施設用地の高盛土法面がW=約30～ 40m・L=20m崩壊、敷地内道路(市道移管 済)段差陥没1カ所(L=20m)及び W=2,3cmの亀裂及び沈下数カ所、ブロック 積み擁壁にW=2,3cmの亀裂

○官庁施設 (29日 14:00現在)

新潟県内の所掌施設における被災状況は以下のとおり。

- ・被害報告のあった14施設のうち、13施設については応急の措置で対応し、使用中。
- ・1施設(小千谷税務署)については、壁のひび割れ等のため、使用を見合わせ。

○その他

信濃川河川事務所 庁舎破損、ロッカー転倒

・ライフライン関係

電力(停電) 6,900戸 (10/30 12:00) 東北電力
 ガス(供給支障) 45,100戸 (10/30 9:00)
 水道(断水) 23,226戸 (10/29 17:00)
 通信・放送(不通) 1,200回線 (10/30 13:00) NTT東日本
 下水道(使用不能) 約13,000世帯(10/30 15:00)

6. 人的被害(消防庁調 10月31日 14:00現在)

都道府県名	人的被害			住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部破損
	人	人	人	棟	棟	棟
新潟県	36	0	2,411	325	533	6,362
長野県			3			
埼玉県			1			
福島県						1
群馬県			5			622
計	36	0	2,420	325	533	6,985

問合先: 河川局防災課災害対策室 水落
 代表: 5253-8111 内線35-822
 直通: 5253-8461